令和4年度第2回さぬき市行政改革推進委員会 会議要旨

開催日時	令和4年10月24日(月)午後3時15分~午後5時15分
場所	さぬき市役所3階 302会議室
出席者	[委 員] 計9名 長山委員(会長)、元山委員(副会長)、池田委員、石田委員、越智委員、 木村(イ)委員、木村(英)委員、下地委員、六車委員 [事務局] 計5名 向井審議監 総務部:中野部長 総務部政策課:間嶋課長、原田課長補佐、多田係長、田中主査
欠席者	井出委員、國方委員
傍聴者	1名
次第	 開会 会長挨拶 議題 (1) 意見調書の集約について (2) 次期行財政改革実施計画取組項目(案) について (3) 行政改革に関する提言書の内容について 4 その他 閉会
配布資料	・資料1 意見調書の集約について ・資料2-1 次期行財政改革実施計画取組項目(案)について(※意見集約前) ・資料2-2 次期行財政改革実施計画取組項目(案)について(※意見集約後) ・資料3 次期行財政改革実施計画取組項目(案)変更点一覧 ・資料4 さぬき市行政改革実施計画取組項目一覧 ・資料5 さぬき市財政健全化策取組項目一覧

開会

議題

(1) 意見調書の集約について

事務局

<資料1について説明>

委員

(質疑なし。)

事務局

(2) 次期行財政改革実施計画取組(案) について

<資料2-1、2-2、3、4,5について説明>

会 長

次期行財政改革実施計画の項目区分についてお諮りします。項目は、5区分に 簡素化しています。削るべき項目、残すべき項目、新規の項目でも構いませんが、 ご意見ございますか。

委員

話が前後しますが、議題(3)意見調書について、行政改革に関する提言書の 内容に関して、意見を提出しました。この趣旨について、説明します。行政改革 では、行政上の無駄を省いて生まれてきたお金を何に使うか、という観点を持つ 必要性があります。運営上の問題点を改善し、無駄を省いて終わりではありませ ん。つまり、市の発展に役立たなければいけない。視点の1つとして意見を出し ています。

会 長

項目「市民サービスの向上」は、そのために作ったものですね。例えば、子育 て支援の充実も挙がっています。なお、「市民サービスの向上」は、委員5名が 協議したい項目として取り上げているので、議題(3)で協議します。

議題(2)は、項目立てに関する内容となります。例えば、次期行財政計画実施計画から項目「定員の適正化」を廃止する旨が出ています。理由として定年延長があります。これは、定年が2年毎に1年延長されていくことです。65歳まで正規職員として再任用や民間でいう再雇用では無く、定年が伸びます。役職定年は、地方公務員では導入されますか。それとも自治体に任されるのですか。

事務局

予定であり、まだ決まっておりません。

会 長

議会に諮るということですね。役職定年を導入しないと役職に就くことができる年齢にズレが生じます。そのことも含め、全体の職員数が出せないというわけですね。この項目をずっと外すのはどうかと思いますが、次期実施計画の期間である令和5年度から令和8年度は、外させてもらって良いかということですね。

あとは、小さな項目や重複する項目についてです。建設事業費用を管理するというのは、公債費管理と事実上、一緒です。地方公共団体だと、建設事業でしか起債できないため、公債管理と建設事業費の管理という内容が重複することとなります。

廃止すべき項目、導入すべき項目について、何かございますか。

委 員

まず、意見集約後の資料3です。廃止になった「⑤公共施設マネジメントの推進」の「共同調理場調理の検討及び統廃合」について、基本計画を作成中ということですが、大きな1つの行政改革で取り組む内容だと思うため、廃止する項目ではないと思います。

もう1つ、「⑥行政運営の効率化」について、コミュニティバスの運営形態は 運行表が変わる等していますが、車社会から手を放す高齢者が増えた場合にどう するかということを行政改革で取り扱ってはどうでしょうか。

会 長

「共同調理場調理業務形態の検討及び統廃合」の項目廃止についてですが、計画 が策定中のため、内容がまだ決まっていないということでしょうか。

事務局

そのとおりです。

会 長

事業が終了した項目なら削りますが、重要で進行中の事業だからこそ項目として残していてほしいという意見もあるかと思います。

委員

保護者の意見が中心となるかと思います。運営委託業務とするのかどうか、また、アレルギー対応ができるのかという点に関心があるかと思います。大きい病院でも食事の委託業務は行われています。

会 長

あとは、「コミュニティバスの運営形態の見直し」の項目です。大きな計画を 終えてしばらく様子を見るために外すということでしょうか。

事務局

現在の実施計画の年度別計画は、事業を完了しています。今後は、個別の会議のなかで見直し等を協議しながら、対応することを考えています。

委員

住民の関心は高いです。

会 長

所管課で項目を廃止した理由自体は、運用が数年安定的であり、目標を立てづらいので、一度廃止して抜本改革のようなものが出たら、再度掲載するということでしょう。

その他の廃止項目については、公共下水道の項目では、事業を水道企業団へ移行 したため廃止等があります。他にも、実質的に中身が一緒のため、統合するよう な項目です。

それでは、共同調理場とコミュニティバスの項目について、残すようにお願い します。

会 長

(3) 行政改革に関する提言書の内容について

ここから、提言書の内容に入ります。事前アンケートで協議したい項目として、 上位の項目を対象とします。まず、現在の行政改革実施計画の項目「①歳入の確保」について、ご意見ございますか。

私は、ふるさと納税に関心があり、この項目を協議したい項目として、選択しました。1億円以下から約3億8,000万円に急増しました。一時的な要因なのか、どうやってこのように集めたのか、簡単に説明してください。

事務局

昨年度の寄付額が増えた理由としまして、ポータルサイトに楽天を追加しました。また、寄付金の事務の一括、在庫業務の委託先も追加しております。最後に、 事業者向けに説明会を開催するなどして返礼品の拡充を行なったり、寄付金額の 設定を見直したりしたことで、寄附金額が急増しております。

会 長

卸売りのような中間業者に活動してもらい、成果が上がったので、それだけの 価値があるということですね。

では、続いて、「施設管理費等の適正化」についてです。学校再編や保育所等の再編等、共同調理場もこの項目に入っています。これについて、ご意見ご質問等ございますか。

委員

公立保育所について協議したいです。

会 長

いわゆる公立保育所の立ち位置が完全に独占してれば良いですが、私立がある と経営にも一定の配慮はもちろん、民業圧迫しないようにという観点はありま す。再編計画は既に策定されていますか。

事務局

入所者数も関係しますが、保護者の方の意向も伺っています。入所者が少なくても良いという保護者の方もいらっしゃいます。意向を確認しながらのため、何人という基準をもった再編計画は策定しておりませんが、検討は行っております。

委員

経費、人件費から考えると検討しないといけないです。

会 長

定員充足率は、把握しているはずです。

都市部でも0歳児が余りだして、主な不足が1歳児にシフトし始めています。 このままだと、徐々に定員が余りだして遊休施設とかが発生します。でも、局所 的には、地方の過疎地だったら既に発生していることです。

委員

施設の老朽化も進んでいます。

会 長

建替の問題もありますね。

委員

早くに建設された建物は、雨漏りするところもあります。そういうこと考えたら総合的に早く計画を立ててほしいです。学校再編計画はできていた。住民にも説明していたし、同様だと思います。

会 長

すぐにとは申しませんが、公立保育所の再編については、とりあえず計画の作 成が必要ではないか、という意見とします。

学校再編は、残るのは1箇所ですか。

事務局

長尾地区で計画がありますが、人数の関係により統合に至っておりません。

会 長

今後どうなるかを見て、計画の実施が決まるということですね。 では、次に「④補助金の見直し」です。ご意見ございますか。

委員

社会福祉協議会について、人件費の削減か分からないですが、各支所の人数が減っています。1人ぐらいしか常駐していません。大事なのは地域福祉です。市民の皆さんが行ける支所が段々と寂しくなっているのは、市からの補助金に関係しているかどうか。社協さんのやり方もあると思いますが、もしそうであるのならば、優先順位を考えて欲しいです。

会 長

補助金が減らされたから、やりくりが厳しく、人件費の圧縮に繋がっているのではないか。また、その場合、社会福祉協議会への補助金を削る前に他に削り代があるのではないか、ということですね。各種団体に役割があるとは思います。社会福祉協議会が地域福祉の要であることには誰も異論はないと思います。

優先順位の高いものについては、役割に見合った適正な補助金の給付、交付が必要ではないかという意見です。

他にご意見ございますか。

委 員

合併前では、色んな催しがありました。市になってからは、色んな特色ある行事が段々と減っています。補助金がなかったら自然消滅していきます。体育協会も、段々減される一方です。だから、本当に真剣にやる人に支えられている。市の活性化という点からすると、削るだけが脳ではないと思います。削り方や重要度をどこに置くかも検討する必要があります。

会 長

土木費や普通建設事業費のような公共事業を削る話が昔は多かったですが、も う削り代がほぼなくなっています。その次に狙いとなったのが補助金です。例え ば、自治会、婦人会、老人会ももう削り代なんてもうないですよね。あまり削り 代がないと思いますが、既に持続可能な補助金が出てないのではないか、という 意見ですね。

団体の代表を誰もしてくれないという話もありますよね。ただし、補助金を増 やしたら、機能するようになるのか、という意見も出ます。

福岡市では、自治会長へ謝金が出ていました。しかし、そのお金を削ることで、 今まで機能していたことを誰もしなくなり、市役所が苦労することとなった。懸 命にやってくれていた人たちが辞めていってから有難みが分かることがありま す。ただし、役割に見合った補助金を出してほしいという内容なのですが、補助 金増やすというと一般住民の方は違和感をもつと思います。

委 員

さぬき市の自治会加入率は約70%ですが、高松市では約50%です。時間の問題で高松市くらいの加入率に近づきます。というのは、自治会長をする人が居ないからです。私は、自治会長をしていますが、後任がいません。再雇用されるため、適当な人が居なく、60歳代後半の方に当たっても後任がいません。補助金というのは、気配りのお金になり、これにはお金を出すべきです。

委員

地域コミュニティが一番大事だと思いますが、それには補助金でなくてもできることもあると思います。例えば、色んな行事をすることで、若い人との交流ができると思います。

会 長

自治会費が集められないという話もあります。自治会費を払わないと言う方もいますが、今は自治会に入らなくて自治会費も払わないという人が出てきているようです。自治会費の徴収は、自治会長さんがされているようでしたら、何でも自治会長に持ち込み過ぎて、みんな引き受けないでしょう。都市部もそうですが、さぬき市みたいに比較的地域コミュミティがしっかりしている所でも、厳しい状況のようです。最後に困るのは、市役所なので、自治会にお金を渡していたほうが良かったとなるはずです。補助金を削るだけでなく、何らかの代替措置がないと酷いことになるのではないか、という論点ですね。

委員

自治会の補助金ですが、貯蓄は多いと思います。

会 長

それは、補助金が出ても使わないからですか。

事務局

補助金だけでなく、自治会費の徴収もあろうかと思います。自治会費はそれぞれの自治会で違います。また、世帯数が異なります。

委 員

まず、プールされた預金を把握して、多い自治会は少なめに補助して、少ない 自治会普通に補助するのはどうでしょうか。会計報告を取り寄せて、確認し、補助金を見直してはどうでしょう。 委員

自治会によって違いがあるので難しいと思います。

委員

さぬき市の自治会でも、会費を納めてない人とかあります。それでも補助金と 自治会費でやっていける自治会もあります。

会 長

全部調べたほうが良いというのは、貴重な意見ですね。

それでは、最後に「市民サービスの向上」です。先ほどまでは、お金を削る話ばかりでしたが、その削ったお金をこのように使ってはどうか、という内容です。まず、子育て支援について、ご意見ございませんか。

委員

このまま人口減少が続くと、20~30歳代の女性の確保が喫緊の課題となります。男性も女性も都市部へ移住していく人が増えています。2人暮らしが高齢者の場合、やがて1人になって、やがて空き家になる家ばかりです。結婚前からどう支援するか。お金の面でも施策の面でも対策が重要です。

委員

意見調書で子どもの遊び場について書いたのですが、これは若いお母さん方から意見を聞きました。お母さんが話している間、子どもが出ていかないような柵がある公園が欲しいという内容でした。

会 長

そのタイプの公園は、都市部以外ではほとんど見かけないですね。都市部で公園が必要なのは、子どもが行動する範囲が道路しかなくなるからであり、大抵、マンション近くに児童公園、都市公園があります。今は交通量も多いため、保護者は怖いと感じるでしょう。

委 員

例えば、三木町浄化センター近辺にある広場です。バスケットゴールがあるし、 壁面が土手になっている。そういう公園だと具体的におっしゃっていました。

委員

あとは工夫次第です。鶴羽幼稚園は廃園したままですが、遊具は綺麗で、フェンスも校舎も残っています。お母さんは話ができて、子どもはボール遊びや遊具で遊べます。

委 員

地域ごとの公園を調べて、若い世代に情報を発信することも必要なことだと思います。

委員

宇多津町は、都市公園と言われる所が 30 箇所もあります。人口が増え続けたのは、住環境の整備をしたことが大きいです。若い人が住もうと思った時、都市公園があるかどうかを確認します。さぬき市には、運動公園がありますが、これは小学生以上が対象であって、未就学児が安心して遊べる場所はおそらくないと

思います。

委員

さぬき市は良い所もあるが、交通の便が悪いかと思います。大串半島は、風景が良いから写真を撮ったり、色んなことしたりしていますが、なかなか行く機会はない。だから、もう少し交通関係を整備したらいいのではないでしょうか。また、新しく公園を整備するなら、大きい建物はなくても、保護者がゆっくりできるように屋根があると良いと思います。

会 長

車で少し遠くまで行けばありますが、保護者の要望は小さくてもいいから、歩いて行ける距離に本当は欲しいのでしょうね。人口密度の問題があるから、全面的には作れないかもしれないですが、整備費用をどこまで節減できるかで、フェンスを全面に建てるのではなく、土手を利用したり、車が通りそうな面だけに整備したり、幼児が越えない程度の高さがあれば十分です。遊具を買うばかりが能じゃなく、遊具よりも背の低いフェンスがあったほうが喜ばれ、次にはお母さんが座れるベンチが必要かもしれないです。ただ、既存施設を何処まで使えるか考えないといけないです。

委員

廃園した幼稚園を活用してはどうでしょう。

会 長

事故があった時のリスクも担当課は考えないといけないですね。

委員

まず地域にどのくらい公園があるかを知っていただいた上で、整備できるかど うか順番を追って考えていければ良いですね。子育て支援の充実は、そこから始 まると思います。

会 長

都市整備課は、公園の数と面積までは把握されているとは思いますが、フェンスがあるかどうかは調べた方が良いですね。

委員

フェンスは必須です。ボールを持って行く子どもも遊びますからね。フェンスがなければ、交通事故の心配をします。

会 長

小学生がサッカーボールを外に出したことで、転倒したお年寄りが骨折するような損害賠償の件もあります。加害者にも被害者にもならないように、フェンスは欲しいでしょうね。

委員

若い人を増やすような施策は色々考えてやっていると思いますが、それはもう 全国中で行われています。団塊の世代はどのような行動パターンになっているか 調べて、呼び込めるようなアクティビティ、施設、イベント等計画してみてはど うでしょうか。 会 長

ボリュームゾーンを対象とするのですね。高度経済成長期に就職できたから、 比較的安定した仕事していた人が多く、一般的にはお金を持っているといわれて いる世代です。お金持っていたら使うし、地域でも貢献されている。人の出入り を一度調べたほうが良いかもしれないですね。

委員

施策として計画してはどうか。ターゲットにしたら、良い成果が得られるかも しれません。

会 長

団塊の世代が喜びそうな旅行プラン等があれば、四国は有利かもしれない。お遍路は、比較的アピール力があると思います。

委員

イベント等を考えて行えば、さぬき市の名前が知れ渡るのではないでしょうか。

会 長

お金持っているのは、金融機関等の調査でも示されている。地元の方にも市外の方にもお金を落としていただいて、地域が潤っていけば良いと思います。 地域医療の継続等について、意見はございますか。

委 員

子育て支援包括支援センターの設置等ありますが、ワンストップセンターの取組の過渡期ではありましたが、行政側のワンストップであって利用者にとってのワンストップではないと感じる経験がありました。

会 長

官公庁は、業務を部門ごとに割って遂行しているが、それをクリアするために ワンストップセンター作り、1箇所で色んな業務を処理できるようにする。今後 は、より十分な取組を実施していただきたいです。

他に意見がないようなので、以上で会議を終了いたします。

閉会